

日立工業会報

創刊号
平成5年12月20日
発行 日立工業高校同
発行者 同窓会 専
日立市城南町2-12
☎ 0294(22)10

新役員が決まる！

平成五年六月十三日に開催された同窓会総会において、次の方々が新役員として選出されました。また、事務局が母校内に置かれました。これまで同窓会運営に御尽力頂いた大谷会長をはじめ前役員の方々に感謝致します。

役員構成

会長	小林 啓一 (二十四年卒 旧制中学)
副会長	小野崎 久輝 (二十五年卒 普通)
	征矢 福栄 (二十七年卒 普通)
	宇野 清一郎 (三十二年卒 工業化学)
	今橋 吉嗣 (三十三年卒 電気)
	鈴木 康 (三十四年卒 機械)
	村田 泰昭 (三十一年卒 旧制中学)
	武藤 悟 (三十三年卒 旧制中学)
	大谷 哲也 (二十二年卒 旧制中学)
	長谷川 宏 (二十三年卒 旧制中学)
	阿部 定男 (二十六年卒 機械)
	黒田 実 (三十四年卒 工業化学)
顧問	
相談役	



会長 小林 啓一

六月十三日の日立工業高等学校同窓会総会で、第三代会長に選任されました。身に余る光栄と責任の重さをひしひしと感じております。

先輩二代会長の力量、手腕にはとうてい及びもつきませんが、先輩が指導されました同窓会の運営を拳拳服膺し、会の隆勢のために微力をつくしたいと思えます。

幸いに、優秀で力量のある副会長の諸兄を選出いただいた事は、会の運営にあたりまして力強いものがあります。

今回、学校と会長、副会長の合同会議で、会の事務局長に教頭先生にご苦労いただくことになりました。会運営がスムーズになると信じております。

ふり返って見ますと、昭和十七年に本校(日立市立中学校)が創設され、昨年で五十年の歴史を迎えました。卒業生も九千有余名を数え、社会のあらゆる分野で活躍

総会のときにも申し上げました。同窓会の役割は、会員の親睦と交流を通じて会の発展を図る。母校行事への協力と在校生がのびのび教育を受けられる環境づくりなど、和気あいあいと仲良くやっていきたいと考えております。

会員の皆様のご協力と行事への積極的参加をお願い申し上げます。会長就任のご挨拶といたします。

同窓会副会長に

就任して

副会長 小野崎久輝



私はこの度、同窓会の副会長をおおせつかりました。どうか宜しくお願い致します。

私は昭和二十五年に卒業をしましてから、同窓会には殆ど無縁の形で過ごして参りました。しかし、日常の新聞紙上での母校の活躍状況には常に心がかり、一喜一憂をして居りました。従いまして今迄お役らしいお役は受けた事があ